

令和4年度 第10回入退院時情報共有・連携ルール作業部会議事録

日時：令和5年1月19日(木)

午後3時15分～午後4時15分

場所：社会福社会館 3階会議室

安城市看取り体制の目指す姿

「本人が望む場所で、自分らしく最期まで今を生きる」

1. 進捗状況共有 資料①

文書開催が2回あり、進捗の遅れがある。4月に臨時で作業部会を開催し、各部会への周知方法を検討頂き、閉会としたい。→一同承認。

2. フロー確認 資料②

白黒のフローに修正したことについて意見を確認。

カラーにして行動などの色分けしたほうが見やすいのではないか。作業部会としてはカラー印刷で、フォントを白黒サイズまで大きくしてほしい。次回までに修正する。

3. 利用者・家族への説明（案）他 資料③

1) 利用者・家族への説明グループより

資料③の P.10 様に作成した。

③家に帰る準備をするために病院にお願いしてほしいことの部分は削除したい。

②の中に退院の目安の項目を追加し、③は削除とする

利用者・家族向けの表現になっているので、専門職に対する表現に変更してほしい。

下線の部分を修正する。

2) 退院前カンファレンス開催基準グループより

・事務局・担当者と協働し案を作成した。資料③P.7、8参照

退院前カンファレンスに参加するにあたっての、*病院によっては、病棟に上がる前に手続きが必要な場合がある。という一文があるが、他の医療機関の状況を聞いて表現を考えたい。

本日欠席の医療機関もあるが、他の医療機関では手続きを行わない場合もあるので、現在書かれている表現でよしとする。

・退院前カンファレンス議題について資料 P.8 と訪問看護ネットワーク部会参考資料参照

P.7 の退院前カンファレンスに参加する職種で、栄養士となっているが、管理

栄養士が正しい表現なので修正してほしい。→事務局にて修正する。

- ・訪問看護ネットワーク部会より議題に追加したい内容について参考資料を基に説明及び意見交換。

P.7の図のように、カンファレンスに必要な職種に出席を依頼するので、患者によって確認事項も異なる。

職種を指定せず、確認事項のみを記載し、病院への質疑の部分で必要に応じて在宅側から質問する

項目として緊急時の対処方法と所要時間30分を追加する

4. 手引書の内容検討

グループワーク

1) エチケット集グループ

- ① 多職種全体②病院③在宅のエチケットをまとめた。利用者・家族用は重複する部分があるので、利用者・家族グループに吸収する。手引書の順番だが、連絡先、様式集は後ろにしたほうが良いと思う。

2) 退院前カンファレンスグループ

前段で説明した内容を文書にまとめた。

3) 様式グループ

標準的な様式はひな型内に吹き出しで、ポイントを記載する。

各事業所で様式が異なるものは項目だけをまとめる

(看護・リハサマリー・診療情報提供書等)

病院との連携に必要な書類はサルビー見守りネット様式集に掲載されているため、QRコードを掲載し、リンク先を掲載する。

サルビー見守りネット様式集プロジェクトで共有して進める。

4) 利用者・家族への説明グループ

本日アドバイス頂いた内容を修正した。順番についてはエチケット集の後に利用者・家族への説明を掲載してもよいと思う。

5. 事務連絡

手引書の原案に追加し、1月末に事務局へ提出予定。

2月は手引書(案)全体の意見交換。

3月はオブザーバーに出席いただき、ご意見を伺う。

4月は担当部署への説明・周知方法の検討

次回開催日 令和5年2月16日(木)午後3時15分～社会福祉会館3階会議室